

神杉自治連だより

神杉地区
自治会連合会
TEL 66-1323
2024/2/13 発行
1月末(前月比)
人口1,493(+14)
世帯 606(+4)
ホームページ
kamisugi@m-city.jp



「目指せー地域の未来形」

1月20日(土)、みよしまちづくりセンターで、三次市住民自治組織主催のまちづくり交流会が開催されました。次世代へ持続可能なまちづくりを進めるために、地域内での世代を超えた交流、つながる場づくり、関係機関との連携した仕組みづくりを行なおうというものです。

まちづくり交流会開催 イチ押しの取り組み発表

三次市内19住民組織関係者と、中高生たちが活動を行っているみよし未来環境会議メンバー、市内の小中学生の発信力向上プロジェクトメンバー、一般参加者の総勢約280名が参加し、会場は超満員でした。

三次市住民組織池上会長の開会挨拶に始まり福岡誠志三次市長、迫田隆範三次市教育長が来賓で挨拶をされました。

続いて持続可能な地域社会総合研究所長の藤山浩氏が「三次市の未来形にむけて」人口・介護分析をふまえての演題で、三次市の最新のデータに基づいて基調講演をされました。

70代前半が元気なこの5年の間で、次世代定住と老後も安心な地域づくりが不可欠であると話されていました。

その後、各自治組織がそれぞれ活動している中



で、イチ押し of 取り組みについて漢字一文字で表現し、その心を30秒以内で発表しました。神杉からは、新祖 光敏自治連副会長がイチ押しとし『**繋**』(つながり)という漢字を発表。その心は、持続可能な地域づくりで未来永劫生成発展するために、未来を担う子どもたちをはじめ、すべての人々が繋がって繁栄していく。』という意味です。

また、各自治組織のイチ押し活動のポスターを作り会場内に掲示し、見学しながら各自治会の取り組みをそれぞれ聞いたりする交流タイムがありました。

その後地域の未来を描くというテーマで、神杉地区から、子どもたちが将来の神杉を描いたレゴブロックワークショップの取り組みについて、有田事務局長が発表されました。

さらに学校の立場から、神杉小学校赤木 実校長先生がレゴワークショップを行った意義や、良かった点などを報告されました。ロビーへは神杉小の子どもたちがレゴで作った未来の神杉の模型を展示し、多くの方に見



ていただきました。

最後に神杉をPRする歌、「神杉よいとこ」を中藤博文さん(19区上)に歌っていただき、会場内に温かみが生じて大変良かったと主催者からお言葉をいただきました。

この後、次世代へつなげる三次のまちづくりのテーマで、藤山所長の司会で中学生2名・市長・教育長・住民組織会長の5人がパネルとなり、パネルディスカッションが行われました。司会者の質問にパネラーからの様々な意見がありました。特に中学生のパネラーからは、会場からどよめきが起こるくらいの素晴らしい発想の意見があり、若い力のエネルギーを大切に育て、若い力と協働して地域の財産をうまく継承していくことが重要だと改めて感じました。

今回のまちづくり交流会は、19の自治組織のイチ押し of 取り組みを1度に知れる良い機会となり、それぞれの地域のパワーを感じました。また、今回のまちづくり交流会は三次市住民自治組織連合会が三次市教育委員会とタイアップしての初めての試みでの開催でしたが、まちづくりの取り組みは、様々な機関や団体、住民(大人から子どもまで)が連携や協力し合って進めていくものであるということを再認識できた良い交流会であったと思います。

※未来永劫生成発展とは

果てしなく続く長い年月にわたって、新しいものを生み出し発展させ続けること



一月度わくわく講座開講

1月15日（月）神杉わくわく講座を開講し、今回は福岡 誠志三次市長をお招きし、『市政を語る』と題してお話をさせていただきました。

① 昨年の振り返り

- ・ 三次の拠点性の魅力で民間企業が進出
- ・ WBS C女子野球ワールドカップ予選大会
- ・ G7広島サミットでの三次産の食材活用、奥田元宋・小由女夫妻の展示など

② 第3次三次市総合計画の策定と実行

令和6年から令和15年まで10年後のありたい姿を描き

【共創のまちづくり】の推進（この間神杉コミュニティセンターの建て替え計画なし）

③ 市役所における組織機構の再編

- ・ 地域振興部 ↓ 地域共創部
- ・ 子ども家庭支援課の新設

④ 健全な財政

経営感覚を持った市政運営
基金残高 平成30年末から令和4年末
16.9億円増額
借金 平成30年末から令和4年末
57.1億円減少

⑤ 三次市長期財政運営計画に基づくまちづくり

社会基盤を計画的に整備

- ・ 備北消防本部 三次消防署の移転
- ・ 市立三次中央病院の建て替え

以上の5本柱でお話をさせていただきました。



その後の意見交換では、講座生から様々な意見や質問が出ました。回答を頂く懸案事項もあり、直接市長と話ができたことは良かったと感じました。

第19回神杉大田植実行委員会

神杉3大行事の一つで今年19回目の開催となる神杉大田植の第1回実行委員会を、2月8日（木）午後7時から神杉コミュニティセンターで開催し、第19回神杉大田植開催要項（案）、役員選出、専門部会構成（案）等を協議し決定しました。

開催日時 **令和6年6月9日(日)**

午前10時から

場所 松田敏昭さんの圃場（約17a）
内容 3部構成とする

1部 花牛3頭 サゲ10名

2部 早乙女約40名の再現大田植

3部 小学校5年生児童と一般参加者による体験交流大田植

3部 代みて行事（体育館）

実行委員長 久保 誠

副〃 新祖光敏

統括責任者 山口 淨 山中晴芳

事務局 有田雅俊

専門部会 有田新治 廣川幹二 梶田智恵美

（部長） 総務部会 日高康雄

圃場部会 松田敏昭

サゲ部会 林 俊之

イベント部会 平田和彦
広報部会 前原時男
アトラクション部会 内藤孝治

以上の役員体制で今後各専門部会を開き、詳細を決めていきます。決定したことは次回の自治連だよりでお知らせします。

神杉大田植は多くの方々のご協力なくしては開催できない一大イベントです。神杉地区内はもとより、地区外からも大勢のお客様がいらつしやいます。

来年の第20回記念神杉大田植に弾みを付け、今こそ神杉の底力を発揮し、一致団結して神杉ONEチームで成功させましょう。

また、毎年の課題である早乙女さんの募集では、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。



第18回神杉大田植

雪たっぷりスキーツアー



暖冬の影響で雪の心配をしていましたが、直前に降った雪がたっぷり積り、1月28日(日)、琴引フォレストパークスキー場でスキーツアーを無事に開催しました。

参加者は13名で少し寂しい状況でした。

バスを降りゲレンデに目を向けると、スキーを行う状況としては最高のコンディション。全コース滑走可能で、他県からの来場者も多く、遠くは北九州市、大阪、奈良ナンバーの車もありました。

ほぼ初心者の子どもたちは、スキー靴をはいただけで難しく、それにスキー板をはくことになれば、歩くこともままならないぎこちない動きでしたが、原田禎憲さんご夫妻(8区2)に手取り足取り優しくご指導いただき、みるみる上達して、長い距離を、そしてある程度の勾配から滑ることができるようになりました。子どもたちも上達を実感して、とても満足顔でした。

また経験者の子どもたちは、すべてのコースを滑り、すっかり雪上の感触を得て、汗をかきながら楽しんでいました。



参加された皆さんは、来年もぜひ参加したいとの声でした。事故もなく良いスキーツアーとなりました。

第68回神杉囲碁大会



1月28日(日)、第68回神杉囲碁大会が開催されました。当日は11名が参加され年に1度の対局を和気あいあい楽しめました。

これまで何度かお休みをされたこともありましたが、68回という回数には驚かされませんでした。

年々愛好者の方が減少し淋しさもあります。この大会を楽しみにして地区外へ出ておられる方がこの日だけは必ず帰って参加されたり、知り合いに誘われて地区外から来られた方もいらつしやいました。

囲碁は相手の弱点を見抜く目と相手の心理と先を読む力が大事です。

また、年代を問わず交流出来るので、様々な年代の方とコミュニケーションを図ることが出来ます。

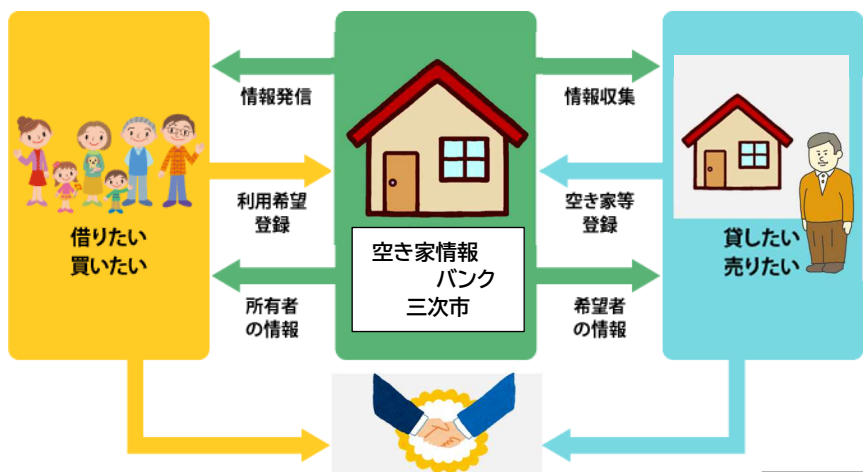
どんな若い人たちにも参加していただき、歴史あるこの大会をこれから先ずっと続けていってほしいと思います。



幹ちゃんの集落支援員情報

空き家を放置しないで
空き家情報バンクへ登録しませんか

空き家対策の一環として、三次市役所ホームページに「三次市空き家情報バンク制度」があります。三次市内に住んでみたいと考えている方に、市内の空き家などの情報を紹介するシステムです。登録することで、空き家の情報が購入・賃貸の希望者に提供されます。空き家、不要となった家屋の整理として活用してみたいかがでしょう。



※交渉・契約については、当事者間の責任において行ってください



三次市
空き家情報バンク
制度について

お問い合わせ

三次市定住対策・暮らし支援課 0824-62-6129
神杉地区集落支援員 廣川 0824-66-1323

2月 講座・行事・会議予定

- 14日(水) パン教室 ケア会議 女性部料理講習会
- 15日(木) 俳句
- 16日(金) パソコン パッチワーク
- 17日(土) 東部地区まちづくり講演会
- 18日(日) グラウンドゴルフ月例会 大正琴
- 19日(月) 神杉わくわく講座(スポーツ吹き矢)
- 20日(火) 舞踊 三味線 防災士会議 ^{大田植} イベント部会
尾首山シイタケ植菌(3年生と)
- 21日(水) 書道 三次市住民自治組織定例会
大田植広報部会
- 22日(木) 絵手紙 三役会議 大田植サゲ部会
- 23日(金) パソコン 生花 カラオケ
- 25日(日) 神杉地区親善球技大会
- 26日(月) 社交ダンス ^{大田植}
- 27日(火) 舞踊 三味線 総務・アトラクション部会
- 28日(水) どんぐり会

3月 講座・行事・会議予定

- 1日(金) パッチワーク
- 2日(土) 給食サービス
- 3日(日) 一斉清掃
- 5日(火) 舞踊 三味線
- 6日(水) 書道
- 8日(金) パソコン カラオケ

※3月は年度末の部会会議
が多数入ってきます



能登半島地震義援金の協力お礼

令和6年能登半島地震で被災された皆様には
心よりお見舞い申し上げます。

被災地の1日も早い復旧・復興をお祈りいた
します。

この度の震災で神杉地区の住民の皆様にご義援
金のご協力をお願いいたしましたところ、

義援金総額 ￥53,734

となりましたことをご報告させていただきます。

この義援金は、中国新聞社を通じて、被災地
の皆様へ送らせていただきます。

ご協力いただきました皆様の温かいお気持ち
に心から感謝申し上げます。

神杉地区親善球技大会

(ソフトバレーボール)

令和6年2月25日(日)

9:30~ 神杉小学校体育館



ソフトバレーボールで楽しんで日頃の運動不
足を解消しましょう。

ご家族・お友だちを誘ってご参加ください。
主催：神杉地区自治会連合会 スポーツ振興部会

山脈句会(二月)

やまなみ

三代で竹刀打ち込み初稽古

田原 洋子

元日の修羅の痕なる能登の国

中藤 博文

春の鹿里駆け回る細き脚

中本 好美

松の内竹の櫓に煙立つ

住田東洋男

平凡な日々を祈り初詣

高松 英子

またひとつ齡を重ね初句会

広川テル子

編集後記 「節分、豆まき、恵方巻」

・節分とは、「邪気を払って無病息災を願う
行事」のことで、立春の前日に行われます。

・豆まきは、豆は鬼を滅する「魔滅(まめ)」に通じること
から、豆など五穀は魔除けの力があると信じられていま
した。

・恵方巻は、関西地方の一部で商売繁盛の祈願で始まった
と言われています。「恵方(その年の福徳を司る神様のい
る方角)を向いて無言で食べれば願いがかなう」と言
われ、太巻きを切り分けず一本丸ごといただくのが習わ
しです。ちなみに今年の恵方は「東北東」です。

子どもの頃から親しんだ行事でも本当の意味はいかが?
以上、簡単に行事などについて紹介しました。

◎幹

